

向東小・中学校 小中連携教育 コミュニティ・スクールだより



令和3年5月20日
No.1
向東地域
学校運営協議会



第1回向東地域学校運営協議会（4月23日）



第1回向東地域学校運営協議会



4月23日（金）に今年度初めて本協議会が開催されました。役員を選任後、小中学校の学校経営方針について説明を行いました。委員の皆様から、学校評価に係る取組について、様々なご意見をいただきました。委員の皆様のご意見を参考にしながら、今年度も、小中学校連携による9年間の教育を学校と地域が協働し、進めていきます。



尾道市教育委員会から
辞令書交付



林原 慎 会長からの
ご挨拶



中原 朗 副会長からの
ご挨拶

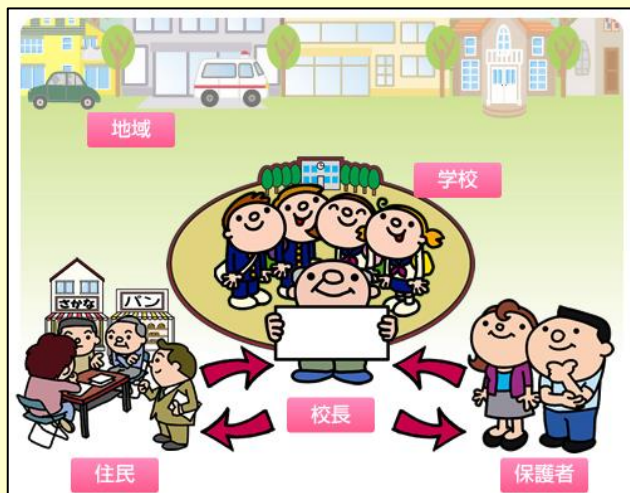
【向東地域学校運営協議会の組織体制】

役職	氏名	所属団体・役職名	備考
会長	林原 慎	福山市立大学教授	4号委員（学識経験者）
副会長	中原 朗	前広島県立尾道商業高等学校 校長	2号委員（地域住民）
コーディネーター	花咲 法子	向東公民館 館長	3号委員 （対象学校の運営に資する活動を行う者）
委員	長尾 哲平	向東中学校PTA副会長	1号委員（保護者）
委員	伊藤 篤	向東小学校PTA会長	1号委員（保護者）
委員	前田 和子	向東中学校PTA会員	1号委員（保護者）
委員	吉原 充	前向東地区区長会長	2号委員（地域住民）
委員	河邊 計貴	向東地区青少年健全育成連絡協議会会長	2号委員（地域住民）
委員	梶矢 里美	第8区民生委員・主任児童委員	2号委員（地域住民）

裏面は上下が逆になっています

【各委員の皆様からのご質問・ご意見】

- 学力向上に向けて、教科学習と道徳をどのように進めていくのか。
- 標準学力調査の評価指標は、全国平均以上とあるが、学年毎の目標なのか。
- 昨年度の進路状況はどうだったか。
- ゲストティーチャーはどんな人に来ていただいているのか。
- 握力（体力の向上）について、上位の子だけでなく、毎日、こつこつと頑張っている子も評価してほしい。
- 仲間づくりに重点をおいた学校行事では、例えばどんなことをするのか。
- ソーシャルスキルトレーニングとはどんなことをするのか。
- 不登校長期欠席児童生徒について、地域でできることがあれば協力をする。地域の中でフリースクールとしての役割を考えていくことが必要なのではないか。
- 様々な障害や病気等について理解するための研修が必要なのではないか。
- 校内環境について、さらに目標値をあげてはどうか。
- 先生が、最大の教育環境である。豊かな感性をもち、子供に寄り添い、一緒に涙を流し、汗を流す先生を求めている。
- コミュニティ・スクールとしての働き方改革をどのように捉えているか。



【今後の運営協議会の日程】

第2回：令和3年8月24日（火）

＜内容＞1学期のまとめ・学校評価中間評価
今後の運営方針 等

第3回：令和3年11月19日（金）

＜内容＞学校評価中間評価を受けての今後の運営方針
意見具申内容 等

第4回：令和4年2月17日（木）

＜内容＞学校評価最終評価・本年度のまとめ
次年度への方針と委員の選任 等





『学校と地域が協働し、子供の未来を拓く』

- ミッションステートメント
- 1 児童生徒の学力を伸ばします
 - 2 児童生徒の豊かな心を育みます
 - 3 児童生徒が地域や社会に貢献できる力を育てます

【中学校学校教育目標】 知性を高め、心を磨き、夢や志に向かって生きる生徒の育成
 【小学校学校教育目標】 確かな学力と豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成

一人一人が希望する進路の実現へ！

学びの系統性

第5ステップ目標：夢や志に向かって、自らの進路を切り拓く力をつける

中学校3年

第5ステップ：主体的な学び（発展）

第4ステップ目標：夢や志を持ち、自らの進路を選択する力をつける

中学校1年

第4ステップ：主体的な学び（充実）

中学校2年

第3ステップ目標：学んだ力を活用し、探求する力をつける

小学校5年

第3ステップ：深い学び（探究）

小学校6年

第2ステップ目標：学んだ力を活用しようとする力をつける

小学校3年

第2ステップ：深い学び（活用）

小学校4年

第1ステップ目標：学びの基礎をつくる

小学校1年

第1ステップ：基盤となる学び（基礎）

小学校2年

教職員の資質向上（授業力・生徒指導力）

地域・保護者との連携・協働

進路実現のために
育てたい資質・能力

< 論理的思考力 >

- ・比較・分類・関連付けを用いて説明できる。
- ・根拠を基にして論理的に説明できる。
- ・見通しを持ちながら課題解決できる。
- ・自分の考えを吟味できる。

< 全体性・積極性 >

- ・様々な課題に対して、進んで挑戦することができる。
- ・何事にも最後まで取り組むことができる。
- ・課題解決の過程を振り返り、新たな価値を創造できる。

< 協働する力 >

- ・様々な人々と関わりながら協力して課題解決できる。
- ・他者との対話を通して、互いの考え方の共通点や相違点を理解できる。
- ・課題意識を共有化して役割を果たすことができる。

9年間の学びの充実とコミュニティ・スクールの推進